

母島列島で確認されているイルカたち

これから夏に向けて、母島列島や聳島列島への遠征ツアーが催行されることが多くなるかと思えます。そこで今月からは、これまでに母島列島や聳島列島周辺で確認されたことのあるミナミハンドイルカたちをご紹介します。と思っています。

まずは、母島列島周辺で良く出会う個体についての紹介です。これまでにイルカ調査隊が個体識別した277個体のうち、約13%となる35個体が母島列島でも確認されています。遭遇場所は、鰭根や鬼岩の付近が多いでしょうか？その中でも特に遭遇回数が多く、最近も観察記録のある3個体が#167、#206、そして#249になります。どれも父島列島周辺でも確認されている個体ですよ。



背中白い斑

胸ビレの欠け

#167

(メス)

観察歴：2005年～



これまで計6回の遭遇のうち、母島で4回遭遇。出産も経験しており、子どもは#259と#329。2016年以降の調査では出会っていない。母島にいることが多いのかな？



左胸ビレの上あたりに黒い斑

胸ビレの欠け

#206

(オス)

観察歴：2006年～



初遭遇は2006年に母島にて。母島で出会った回数は最多の5回。2016年の調査で父島にて7年ぶりに確認されたが、2018年は母島で確認している。背ビレや胸ビレに特徴有。



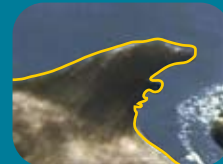
さんまちゃん

下あごがずれ、
右側の歯が見えている

#249

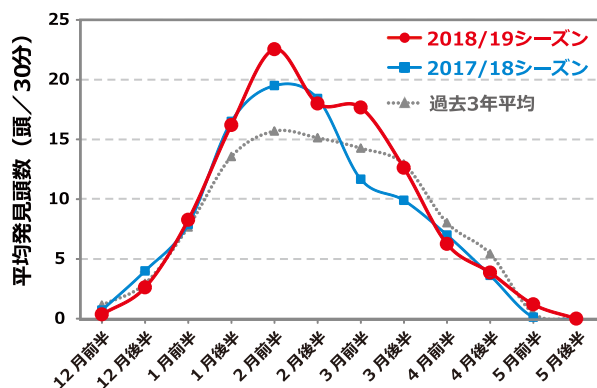
(性別不明)

観察歴：2008年～



調査隊との計5回の遭遇のうち、3回が母島遠征時。下あごがずれており、右の歯が丸見え。背ビレも大きくかけているため判別が容易。2018年も母島で確認された。

ザトウクジラの定点観測結果報告 ～2018/19シーズン～



ピーク時の発見頭数が過去最多のシーズンとなりました!!

今シーズンのザトウクジラ定点観測の結果に関するご報告です。12月は昨シーズンよりもやや少なめの発見頭数でしたが、1月中は昨シーズン並みとなりました。2月前半にはピークを迎え、昨シーズンの同時期を3頭上回る平均22.5頭の発見頭数となりました。2月後半になると観察される数が減少したものの、3月は昨シーズン以上の数値を保ち、4月以降は昨シーズン同様に推移していきました。

定点観測が始まって20年、半月の平均発見頭数が20頭を超えたのは初めてのこととなりました。